

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.248)

## 1. 解体撤去の準備を進めています

### (1)PCB付着状況調査

PCB付着状況調査は、施設や設備の解体撤去を行う準備として、プラント設備などに付着するPCBの濃度を事前に把握するための重要な調査です。この調査結果を基に、プラント設備などに付着するPCBを除去する方法や、最も適した解体撤去方法などを検討します。また、この調査結果は、解体作業を行う作業員がPCBに暴露しないように装着する保護具の選定にも大きく影響します。

当事業所では、令和3年度から解体撤去に向けたPCB付着状況調査を行っており、すでに解体撤去が完了したコンデンサー自動解体ラインの工事でも、この調査結果が大きく役立ちました。

本格化する解体撤去に備え、今後も計画的に調査規模を拡大して、安全で確実な解体撤去を進めていきます。



(PCB付着状況調査の検体採取)



(配管内の洗浄油の液抜き作業)

### (2)PCBの洗浄と液抜き

これまでの高濃度PCB廃棄物の処理によって、プラント設備や配管内の一部にはPCBの付着やPCBを含む洗浄剤が残っています。このため、解体撤去の準備として、設備や配管内のPCBをできるだけ取り除く洗浄作業と液抜き作業を行う必要があります。

この事前作業を確実に行うことにより、解体撤去工事の作業環境におけるPCBの影響を大きく低減することができます。

こうしたPCBの洗浄や液抜き作業により、低濃度のPCBを含む洗浄油が多く発生します。

当事業所は、高濃度のPCB廃棄物を処理する施設のため、低濃度PCB油の無害化処理は外部に委託してきました。このため、発生したPCB油を国が認定した低濃度PCB無害化処理認定施設などへ処理委託するための第一回目の払出作業を10月24日に行いました。



(低濃度PCB油のタンクローリーへの積込⇒)



## 2. 総合防災訓練を実施しました

10月31日に、万が一の火災発生時に被害を最小限に止め、全従業員の安全確保を図ることを目的に、豊田市南消防署の協力を得て総合防災訓練を実施しました。

処理棟1階の蒸留エリアを発災現場とする火災報知器発報、発災現場の現地確認、全館放送による火災通知を行いました。

続いて、屋外ピロティへの避難指示、防災対策本部と現地指揮本部の設置及び119番通報と安否確認を展開しました。



(現地指揮本部)



(防災対策本部)

さらに、南消防署と合同で、自衛消防隊消火班による粉末消火設備の起動準備から消火完了後の鎮火を確認しました。

最後は、救護班による負傷者救出訓練に至るまでの、実践さながらの有意義な総合防災訓練となりました。

反省会では、南消防署の方から、「発災現場から本部へこまめな情報提供が重要」とのアドバイスをいただきました。アドバイスや反省点を活かし、今後も当事業所防災体制の更なる強化に努めていきます。

## 3. 秋期定期点検前に災害防止協議会を開催

11月6日に、秋期定期点検に先立ち、災害防止協議会が開催されました。

この協議会は、定期点検を行う事業者の責任者が参加して、JESCOからは定期点検のスケジュールや労働災害、漏洩トラブルを防ぐために注意すべき点などを説明し、各責任者が従事する全ての作業員への周知徹底を図り、労働安全衛生を推進するためのものです。また、過去の定期点検のパトロールで確認された良い事例なども紹介して、各事業者の点検作業に取り入れながら実行するように要請しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

